

2024 全国市区町村 魅力度ランキング

地域ブランド研究所の資料より

順位	市区町村	点
1(3)	函館市・	58.2
2(1)	札幌市	57.9
3(2)	京都市	52.3
4(7)	横浜市	51.8
5(8)	小樽市	50.9
6(4)	金沢市	48.8
7(5)	鎌倉市	46.9
8(14)	石垣市	46.3
9(6)	神戸市	45.2
10(11)	富良野市	45.0
11(12)	仙台市	44.9
12(18)	箱根町	44.4
13(9)	那覇市	44.1
14(16)	日光市	43.0
15(14)	別府市	42.5
16(10)	軽井沢町	41.8
17(21)	宮古島市	41.3
18(19)	福岡市	41.0
19(13)	熱海市	40.3
20(23)	伊豆市	40.1
21(16)	沖縄市	39.1
22(25)	名古屋市	37.3
23(20)	伊勢市	35.9
24(29)	姫路市	35.8
25(24)	屋久島町	35.4
26(22)	長崎市	35.3
27(38)	横須賀市	34.8
28(27)	宇治市	34.3
29(36)	草津市	33.8
30(47)	茅ヶ崎市	33.3
31(34)	尾道市	33.2
32(36)	帯広市	32.9
33(55)	富士河口湖町	32.7
34(26)	浦安市	32.6
35(33)	釧路市	32.2
36(45)	渋谷区	31.6
37(43)	大宰府市	31.4
38(54)	登別市	31.2
39(32)	旭川市	31.1
39(45)	志摩市	31.1
39(47)	松本市	31.1
42(28)	倉敷市	30.8
42(41)	奈良市	30.8
44(30)	大阪市	30.6
44(55)	下関市	30.6
44(62)	出雲市	30.6
47(44)	浜松市	30.4
47(58)	ニセコ町	30.4
49(47)	千歳市	30.1
49(52)	逗子市	30.1
49(55)	下呂市	30.1
49(60)	広島市	30.1
1000市区町村平均		10.8



茅ヶ崎市在住
水彩画家 かとうくみ

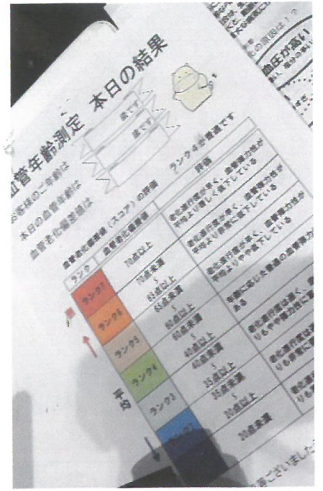
全国市区町村魅力度ランキングで、茅ヶ崎市が、 昨年 47 位から今年 急上昇 30 位!

「地域ブランド調査」は、ブランド総合研究所が2006年から年1回実施している調査で、各地域名称の全国的な認知やイメージ形成、各行動意向等を明らかにする大規模消費者調査です。全国 1000 の市区町村を対象にランキングを発表しており、「地域ブランド調査 2024」では、茅ヶ崎市は前年 47 位から 30 位へ急上昇しました。

総務省が今年 1 月 30 日に発表した「住民基本台帳人口移動報告」でも、茅ヶ崎市は、2023 年の転入者が転出者を 2,520 人上回る転入超過で、全国の市区町村の中で 9 位東京都特別区部と政令指定都市を除いた一般の市町村の中では 1 位でした。年齢別で見ると、0~14 歳と 30~44 歳がともに全市区町村中 3 位で、子育て世代の転入超過が多く、湘南地域が子育て世代に暮らしの場として選ばれているようです。

自分の今の状態を知る事で、自分にあった食事や運動のアドバイス

健康相談コーナーでは、地元のドラッグストア・クリエイトに勤務する2名の薬剤師さんによる「血管年齢測定」と「からだ組成チェック」により「カラダ・チェック・シート」を作成し、自分の今の健康状態を知る事で、自分に合った適切な食事や運動のアドバイスをいただきました。薬剤師さんから、「薬の飲み合わせ」「薬を飲む時間」「食事相談」のアドバイスも。海岸地区包括支援センター「あい」の保健師さんによる血圧測定により、個別の健康相談も受けられました。



隣接するコーナーでは、地元ボランティア・グループによる「手話体験」「点字体験」も行われました。「聴覚障がい者」とコミュニケーションするための「手話体験」は、ボランティア・グループ「茅の会」の指導で「指文字」や「手話表現」を体験することが出来ました。

大盛況のホールで開催された ステージ・パフォーマンス



大盛況だった当日のパフォーマンス演目は「和太鼓」「茅ヶ崎甚句」「茅ヶ崎体操」「フラダンス」「東小6年有志のソーラン演舞」「第一中・吹奏楽演奏」など、集まった皆さんを大いに楽しませてくれました。



掘り出し物で大人気の「バザー」、子ども達も楽しんだ「バルーンアート」「折り紙室」、第一中学校美術部による「似顔絵」、日本のおもてなしを体験できる「お茶席」など。模擬店では焼き鳥や綿菓子も販売されました。



体験コーナーでは「視力障がい者の誘導」「車イス」を体験。『乗ってるのは楽だけど坂道を押すのは大変だね』『インスタントシニア』では、白内障による視力低下や筋力の衰えによる高齢者の身体の不自由さを疑似体験。

年末慰問品を進呈

海岸地区社会福祉協議会では、年末に地区担当民生委員を通じて、80歳以上で、おひとりでお住まいの高齢者の皆様を対象に「年末慰問品(カステラ)」を進呈しています。

夏休みの子どもの居場所「サマースペース海岸」プロジェクトは、学校が長期間休みとなる夏休みに、保護者が仕事などで留守の間は子どもだけで過ごさなければならない家庭からの「安心して子どもを預けることができる場所が欲しい」との要望に応じて、昨年度から実施した事業です。今年度も、茅ヶ崎小学校、東海岸小学校の両校に参加者を募集したところ、昨年の参加希望者 33 名を大きく上回る 98 名の児童の申し込みがあり海岸地区社会福祉協議会、海岸地区民生委員児童委員協議会、東海岸小学校区青少年育成推進協議会の三団体が協力し、「うみかぜテラス」及び「ボランティアセンター海岸」において開設しました。7月24日から8月30日（土・日、8月11日～16日を除く）の長期にわたる事業ですが、高校生ボランティアの支援もあり、認定NPO法人「神奈川子ども未来ファンド」からの助成金もいただき、工作、おやつ作り、高齢者体験、防災教室、手話講座、楽器演奏などのプログラムを企画し、子どもたちと楽しく過ごしました。



夏休みに開催された

サマースペース海岸 2024



編集後記 今回も前回に引き続き、市内に在住の水彩画家「かとうくみ」さんのご厚意で水彩画を使用させていただきました。今号は、海岸地区社会福祉協議会が11月10日に開催した「ふれあいの集い」をご紹介します。このイベントは、様々な世代の皆様方の交流を通じて、豊かな地域生活を過ごしていただく事をテーマにして開催しています。2025年も、健康的に生活するために大切な健康相談から、地域の方々によるステージ・パフォーマンス、掘り出し物がいっぱいのバザーやなど。楽しみながら地域の社会福祉について考え体験する一日を企画し開催する予定です。皆様のご来場をお待ちしております。 k.m

